

■ 会社概要 (2018年9月30日現在)

商号 株式会社ティーガイア
(T-Gaia Corporation)
本社所在地 〒150-8575
東京都渋谷区恵比寿4-1-18
恵比寿ネオナート14F～18F
資本金 3,154百万円
設立 1992年2月
事業内容 (1) 携帯電話等の販売及び代理店業務
(2) ソリューション、ブロードバンド等
通信サービスの販売取次業務
(3) 決済サービスその他新規事業、海外事業
販売地域 日本全国、シンガポール
従業員数 4,469名

■ 役員 (2018年9月30日現在)

| | |
|-----------------|--------|
| 代表取締役会長 | 澁谷 年史 |
| 代表取締役社長 執行役員 | 金治 伸隆 |
| 取締役 副社長執行役員 CFO | 多田 総一郎 |
| 取締役 専務執行役員 | 近田 剛 |
| 取締役 | 福岡 徹 |
| 取締役 | 宮下 真弘 |
| 取締役(社外取締役) | 浅羽 登志也 |
| 取締役(社外取締役) | 出口 恭子 |
| 取締役(社外取締役) | 鎌田 淳一 |
| 常勤監査役 | 奥谷 直也 |
| 常勤監査役 | 橋本 良 |
| 監査役(社外監査役) | 蒲 俊郎 |
| 監査役(社外監査役) | 北川 哲雄 |

■ 株式情報 (2018年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 400,000,000株
発行済株式総数 79,074,000株
株主数 6,902名

大株主の状況

| 氏名または名称 | 所有株式数 | 持株比率 |
|--|-------------|--------|
| 住友商事株式会社 | 23,345,400株 | 41.89% |
| 株式会社光通信 | 11,933,400株 | 21.41% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,749,800株 | 3.13% |
| 株式会社ブロードピーク | 1,500,500株 | 2.69% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,100,500株 | 1.97% |
| ティーガイア従業員持株会 | 737,700株 | 1.32% |
| GOVERNMENT OF NORWAY | 689,458株 | 1.23% |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL | 541,267株 | 0.97% |
| BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC / FIM / LUXEMBOURG FUNDS / UCITS ASSETS | 530,000株 | 0.95% |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044 | 476,100株 | 0.85% |

※ 持株比率は自己株式23,345,828株を控除して計算しております。

日興アイ・アール
全上場企業ホームページ
充実度ランキング

総合ランキング
5
「最優秀サイト」
年連続選定

企業ホームページ
最優秀サイト
2017
日興アイ・アール
総合ランキング

企業ホームページ
優秀サイト
2017
日興アイ・アール
業種別ランキング

ティーガイア

検索

<https://www.t-gaia.co.jp/>



見やすい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



本誌は、FSC®森林認証紙と
植物性インキを使用しています。



10th
ANNIVERSARY

T G . R E P O R T

第28期 第2四半期(累計)
2018年4月1日～2018年9月30日

vol. 26



新 企業理念

TGビジョン ～わたしたちの目指す姿～

- 新たなコミュニケーションの提案を通じ、お客様に感動・喜び・安心を提供します。

TGミッション ～わたしたちの使命～

- 社員とその家族を大切に、働く喜びを実感できる企業であり続けます。
- ビジネスパートナー・地域社会・株主と強い信頼関係を築き、ともに発展し続けます。
- リーディングカンパニーとして、変化を先取りし、新たなビジネスに挑戦し続けます。

TGアクション ～わたしたちの行動指針～

- 「ありがとう」を超えるサービスを追求します。
- 情熱とスピード感を持ち、積極果敢に挑戦します。
- コミュニケーションを大切に、風通しの良い職場をつくります。
- 多様性を尊重し、最高のチームワークを実現します。
- プロフェッショナルとして日々の自己研鑽に努めます。
- いかなるときも高い倫理観に基づき誠実に行動し、コンプライアンスを徹底します。

2014年4月に公表した企業理念のエッセンスを変えず、「よりシンプルに」「より分かりやすく」をコンセプトとして、ブラッシュアップいたしました。

目次 Table of Contents

| | | | |
|----------------------|---|---------------------|-----|
| 新 企業理念 | 1 | 事業別の業績と取り組み | 7 |
| 株主の皆様へ | 2 | 第2四半期(累計)連結財務諸表(要旨) | 11 |
| 特集 10年のあゆみ | 3 | TGラウンジ | 12 |
| 第2四半期(累計)連結業績・財務指標推移 | 5 | 会社概要、株式情報 | 裏表紙 |

株主の皆様へ

リーディングカンパニーとして
変化を先取りし、次なる10年も
持続的な成長を図ってまいります。

代表取締役社長 執行役員

金 治 伸 隆



株主の皆様には益々ご清栄のことと、お喜び申し上げます。

2008年10月の合併により誕生したティーガイアは、本年、10周年を迎えることができました。ひとえに、株主様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援のお陰と、心より感謝しております。

当社グループの主な事業分野である携帯電話等販売市場では、通信事業者がポイントサービスやコンテンツ等を充実させ、長期的な顧客基盤の維持・拡大に取り組んでおります。また、新たな通信事業者の参入予定まであと1年を切るなど、今後の市場動向に対する注目がますます高まっております。

このような事業環境下、一部販路における商流の変更等に伴い、2019年3月期上期の全社携帯電話等販売台数は194万5千台と前年同期を下回りましたが、概ね期初の計画通り推移しております。スマートフォンおよびタブレット比率は、過去最高の84.3%。連結売上高が前年同期比3.7%減の約2,398億円、営業利益は15.6%増の68億7千万円、(株)フオカードの連結が寄与し、親会社株主に帰属する四半期純利益は76.5%増の68億8千万円となりました。

前期に引き続き当社は、「全社的な生産性の向上」並びに「新たな収益の柱の構築」に取り組んでおります。

「全社的な生産性の向上」としては、直営キャリアショップの重要業績評価指標を全社で共有いたしました。一人当たりの販売台数、残業の少なさ、

お客様の繁閑に合わせた勤務対応などの項目について、各スタッフが切磋琢磨して他店と競い合っております。

また、店長会議のほぼ半分をWeb化いたしました。各店舗から本店へ移動する負担が軽減され、店長が店舗業務に注力できる時間が増加しております。

「新たな収益の柱の構築」としては、現在複数の案件に取り組んでおり、時期が来ましたら順次公表させていただきます。最近の取り組みとしては、自社初のオリジナルスマートフォンコンテンツ「みんなの暮らしラボ」の提供を開始いたしました。「知って聞いて使って得する」をコンセプトに、日常のちょっとした悩みを専門家に相談するサービスや、本コンテンツの提携先である(株)イーウェルが対象とする30,000件以上の厳選されたレジャー施設等において、各種の優待特典を受けることができるサービスを、スマートフォンユーザー向けに提供してまいります。

株主様への還元につきましては、前上期比9円増の1株当たり36円50銭の中間配当を実施。通期でも5期連続増配の73円を予定しております。通信業界は今、新たな激動の時代を迎えておりますが、ティーガイアとしてこの荒波をチャンスと捉え、企業価値・株主価値の更なる向上と持続的な成長の実現に向けて全力を尽くしてまいりますので、引き続きご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

配当について

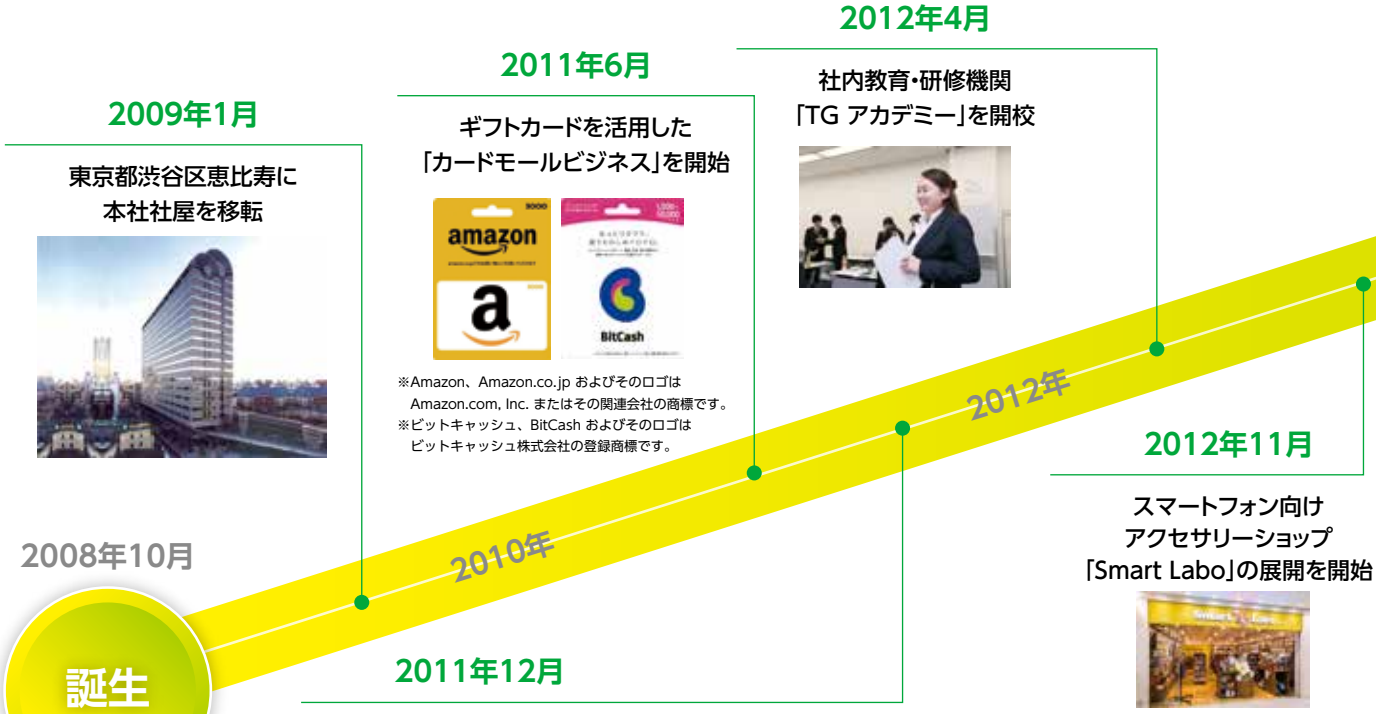
業績の進展状況に応じて、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しながら、配当性向30%以上を目標として利益還元を実施してまいります。

2019年3月期 配当金 (1株)

| 中間配当金 | 期末配当金 | 年間配当金 |
|-------|-----------|-----------|
| 36.5円 | 36.5円(予想) | 73.0円(予想) |

10年のあゆみ

おかげさまで、本年10月1日に10周年を迎えました。
誕生以来、10年間のあゆみを振り返ります。



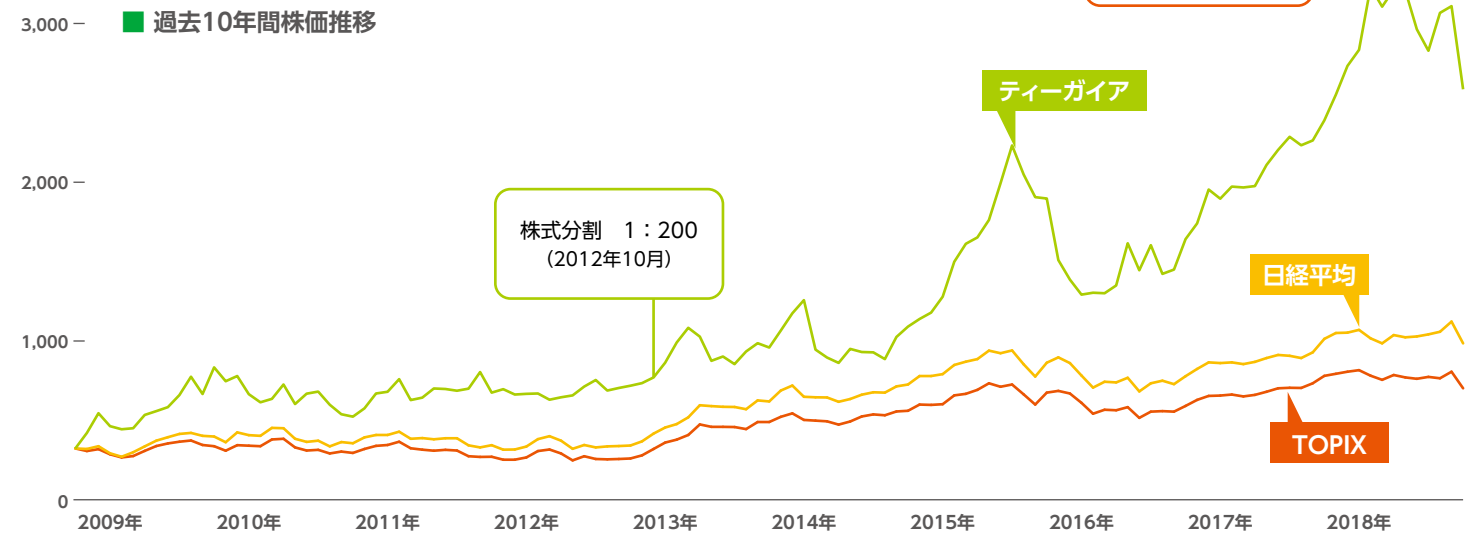
2011年6月
ギフトカードを活用した「カードモールビジネス」を開始

※Amazon、Amazon.co.jp およびそのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
※ビットキャッシュ、BitCash およびそのロゴは ビットキャッシュ株式会社の登録商標です。

2012年4月
社内教育・研修機関「TG アカデミー」を開校

2012年11月
スマートフォン向けアクセサリーショップ「Smart Labo」の展開を開始

■ 過去10年間株価推移



10年前と現在の比較

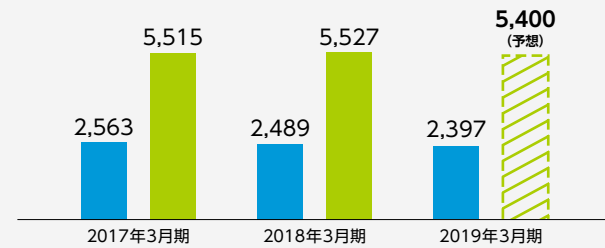
| | 2008年 | | 2018年 |
|-------|-------------------------------------|---|---|
| 株価 | 513.5円 <small>(10/1終値)</small> | ➔ | 2,963円 <small>(10/1終値)</small> |
| 当期純利益 | 63.6億円 <small>(2009年3月期)</small> | ➔ | 135.0億円 <small>(2019年3月期(予))</small> |
| 従業員数 | 3,073名 <small>(10/1現在)</small> | ➔ | 4,469名 <small>(9/30現在)</small> |



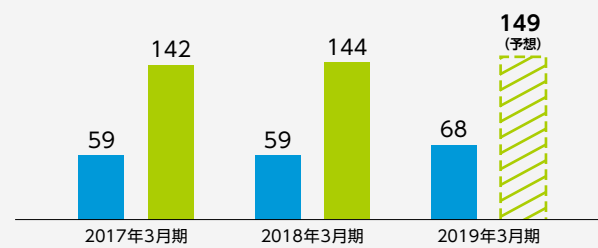
■ 第2四半期(累計)連結業績・財務指標推移

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位未満切捨て)

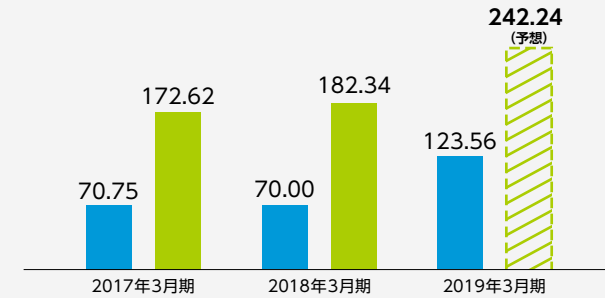
■ 売上高 (億円)



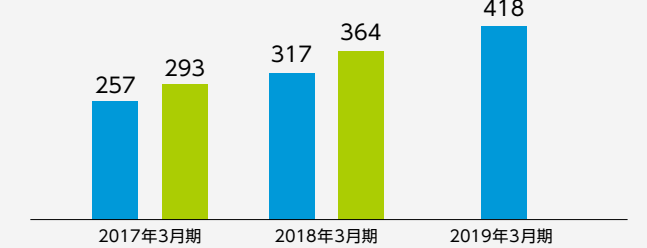
■ 営業利益 (億円)



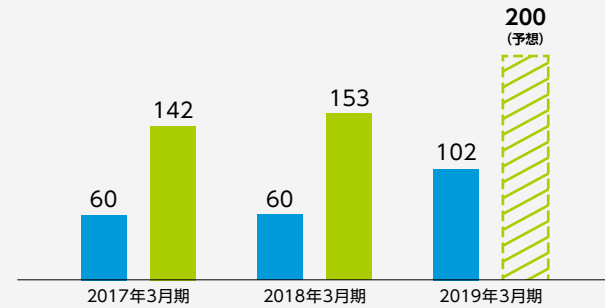
■ 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



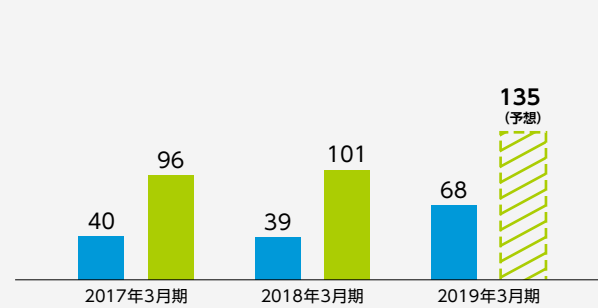
■ 純資産 (億円)



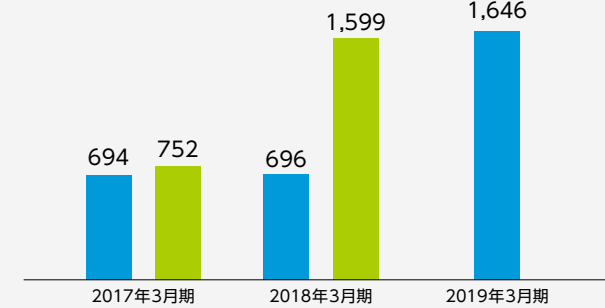
■ 経常利益 (億円)



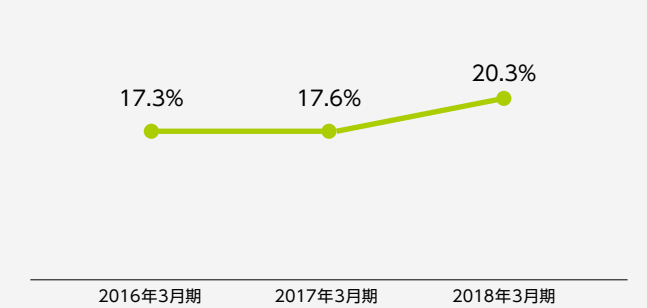
■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



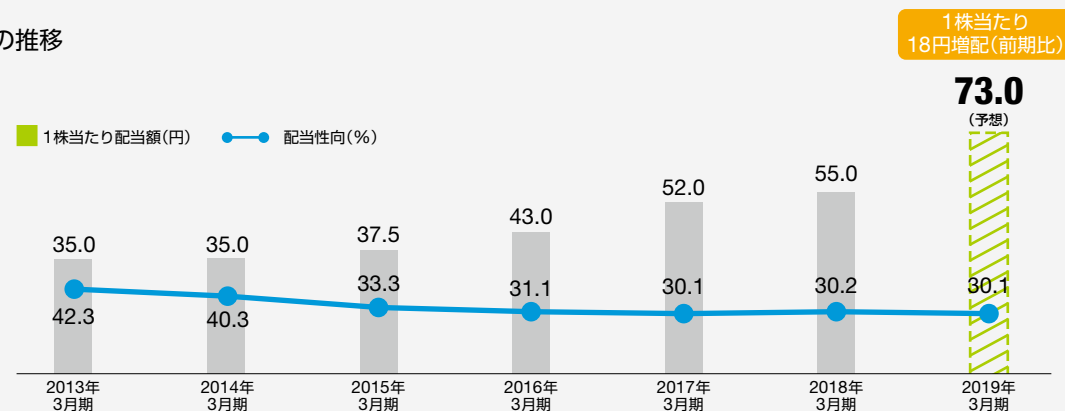
■ 総資産 (億円)



■ ROIC (投下資本利益率) (%)

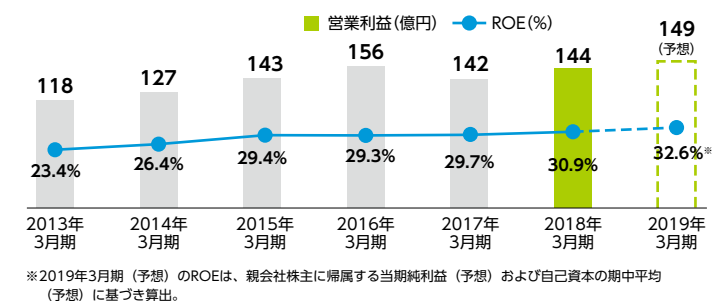


■ 配当の推移



※上記の数値につきましては、過去に実施いたしました株式分割を勘案した数値を掲載しております。

ROE (自己資本当期純利益率)・営業利益 推移



設立以来、高水準のROEと
営業利益を維持し、
「JPX日経インデックス400」にも
5期連続で採用されております。

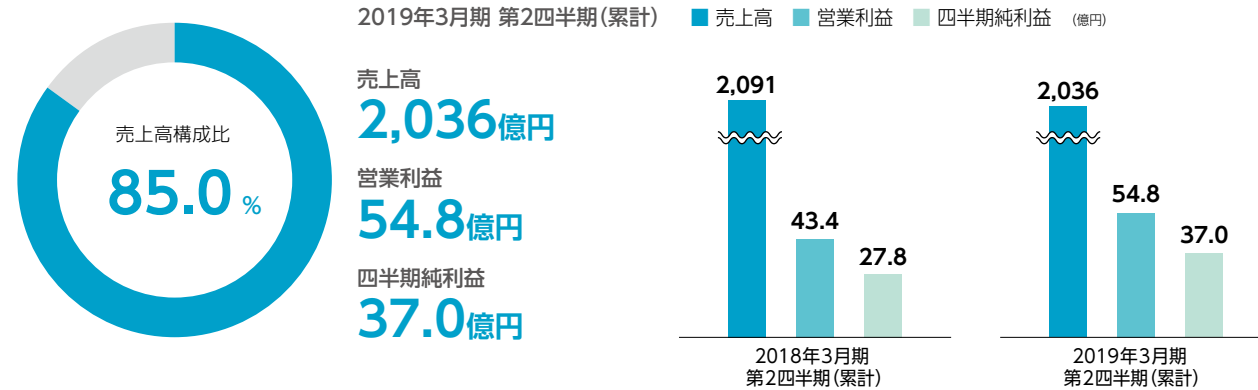
※JPX日経インデックス400は、日本取引所グループとその傘下の東京証券取引所、および日本経済新聞社が共同で開発し、2014年1月6日から公表が始まった株価指数です。

■ 事業別の業績と取り組み

モバイル事業

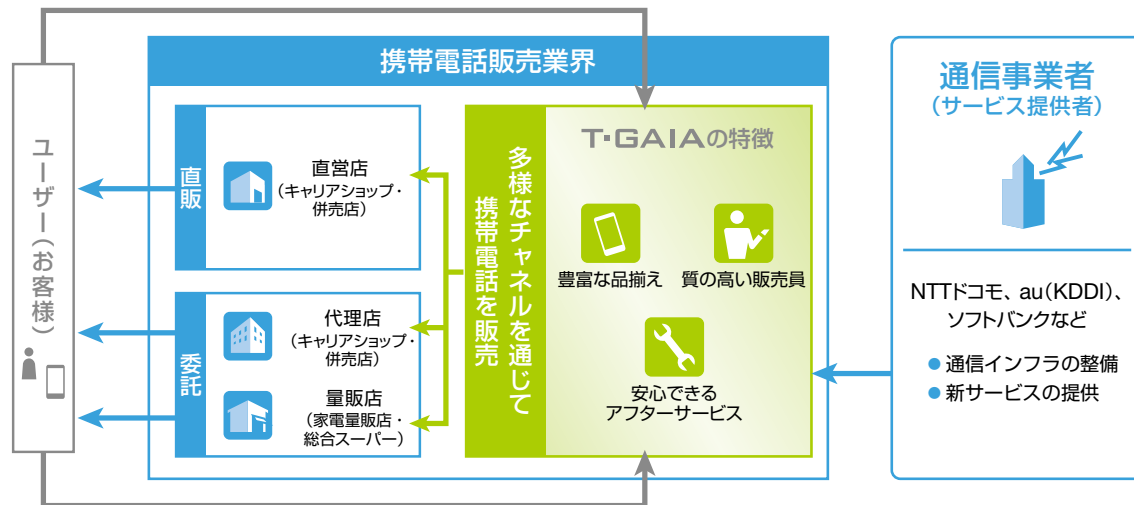
Mobile Telecommunication Business

携帯電話等の販売及び代理店業務



■ 業界におけるティーガイアの役割と位置付け

通信事業者にとって販売代理店は、日々多くのユーザーと接するチャネル。
携帯電話の流通や販売において重要な役割を担っております。



■ 店舗投資

コラボレーションショップ



博多駅地下街店

楽天モバイル × Smart Labo

4店舗運営中

直営キャリアショップ新店舗

Smart Labo 新店舗



コクーンシティ さいたま新都心

2018年10月1日 OPEN



auショップ イオンタウン始良 (鹿児島県)



楽天モバイル ららぽーと磐田店 (静岡県)

■ 人財教育

当社グループ会社(株)キャリアデザイン・アカデミーを通じ、業界最大手のノウハウを活かして人財育成を推進



● 自社はもちろん、パートナー代理店も含めたTGグループに研修・教育を実施

● スタッフ向けeラーニングサービス「CDA ONLINE」コンテンツを拡充

● モバイル業界を中心に幅広い研修・教育サービスを提供

【主要受託実績】
・全国携帯電話販売代理店協会
・CATV事業者
・銀行、自動車メーカー等、他業界での実績多数



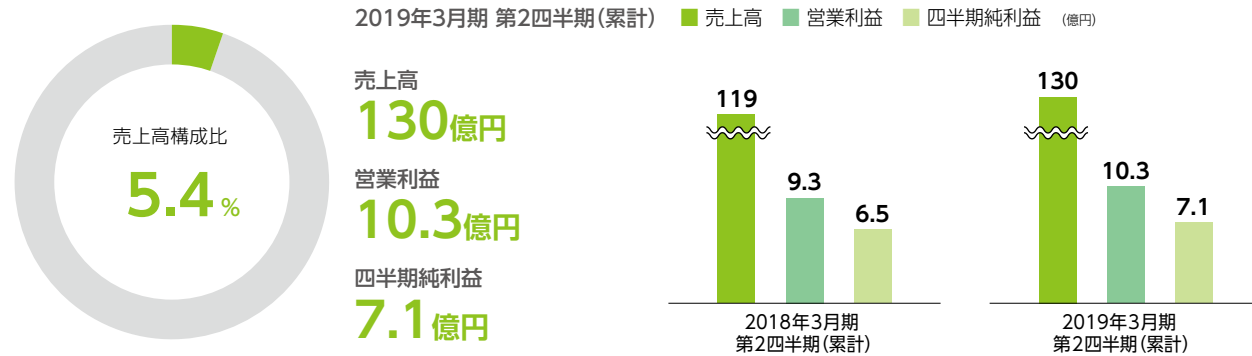
■ 当社グループキャリアショップ店舗数 (直営店・代理店含む) (2018年9月末現在)

| 店舗名 | 店舗数 | 内直営店数 |
|------------|---------------|-------------|
| ドコモショップ | 281店 | 173店 |
| auショップ | 417店 | 85店 |
| ソフトバンクショップ | 347店 | 40店 |
| UQスポット | 32店 | 9店 |
| ワイモバイルショップ | 35店 | 2店 |
| 楽天モバイルショップ | 17店 | 17店 |
| 合計 | 1,129店 | 326店 |

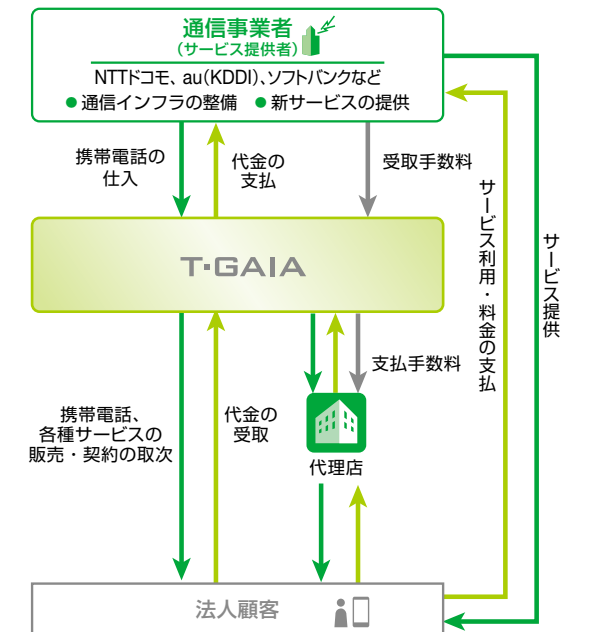
■ 事業別の業績と取り組み

ソリューション事業 Enterprise Solution Business

法人顧客向けの携帯電話等の販売やソリューションサービスの提供、固定通信サービスの販売取次業務



携帯電話販売事業(法人顧客向け)



RPA ※ビジネス開始 wamnet

グループ会社日本ワムネット(株)と共同でRPAビジネス推進中

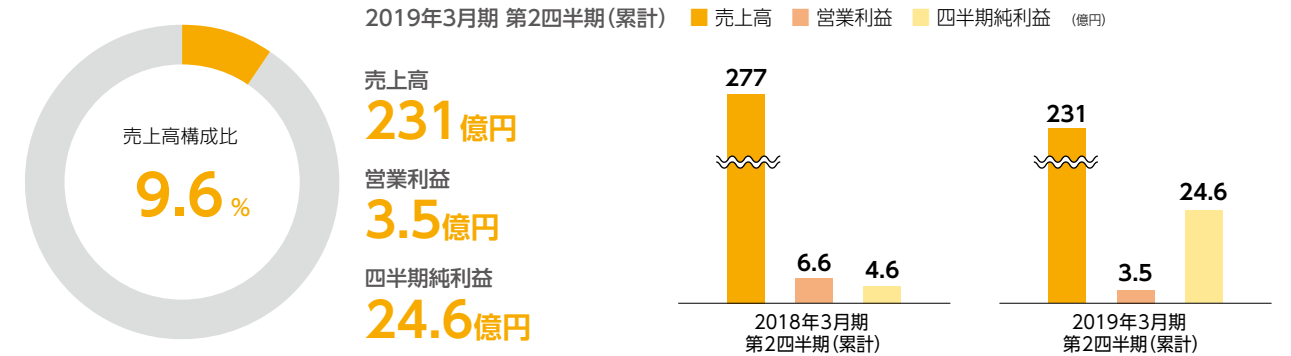
共同で中小企業・小規模事業者の業務効率化による生産性向上をサポート

データ分析、加工、配布

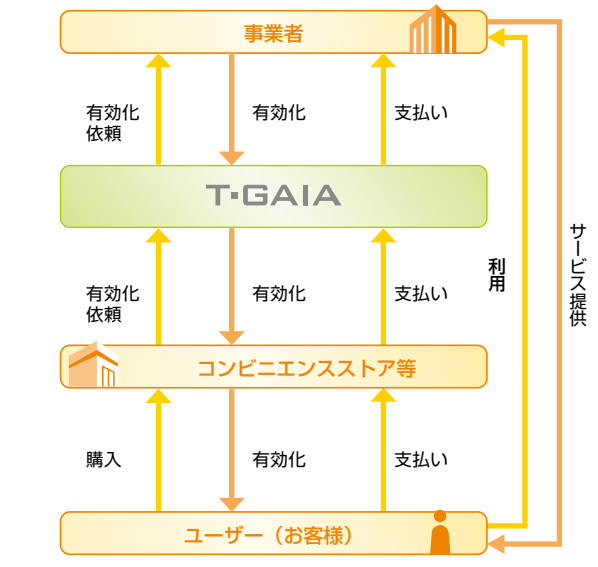
※「ロボティック・プロセス・オートメーション」の略語。人工知能を備えたソフトウェアのロボット技術により、定型的な事務作業を自動化・効率化すること。

決済サービス事業他 Settlement Service & Other Business

決済サービス、海外事業、その他新規事業



ギフトカードの販売モデル



■ギフトカード取り扱い店
 コンビニエンスストア、ドラッグストア、スーパーマーケット等(その他、当社の一部直営店等)

■(株)フオカード取り組み

既存QUOカードの発行・利用 好調
 「デジタル版QUOカード」発行開始に向け取り組み推進中



【デジタルQUO利用イメージ】

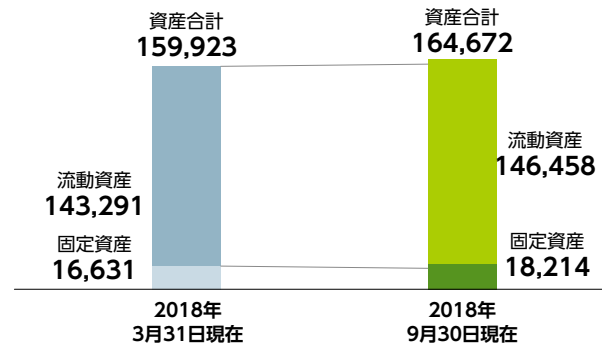
1. ネットでもらって
→アンケート回答や一飲料の購入キャンペーン等
2. スマホで貯めて
デジタル版QUOカード
3. “お店ですぐ”使える

ネットでもらって、コンビニ等のリアル店舗で“すぐに”使える

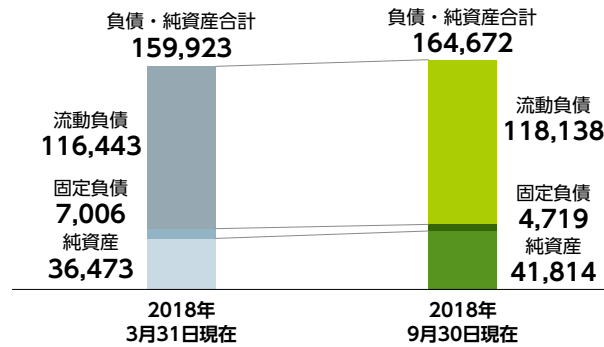
■ 第2四半期(累計)連結財務諸表(要旨)

■ 四半期連結貸借対照表 (単位:百万円)

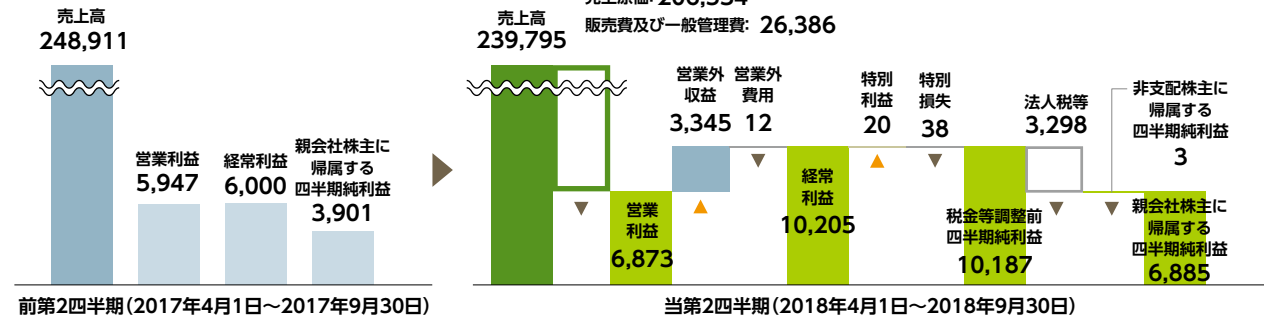
資産の部



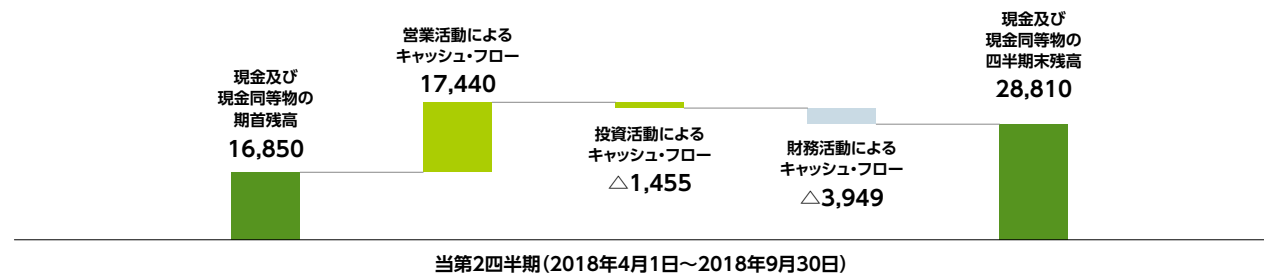
負債・純資産の部



■ 四半期連結損益計算書 (単位:百万円)



■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



TG ラウンジ

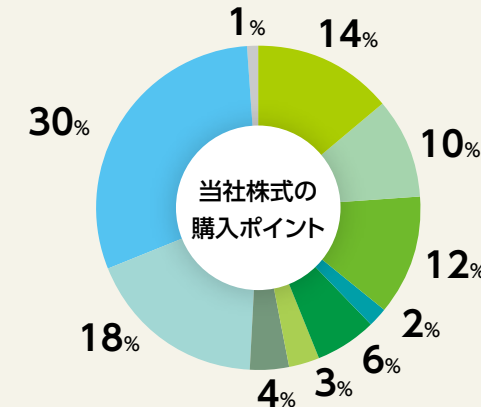
株主様と当社グループのコミュニケーションコーナーです。



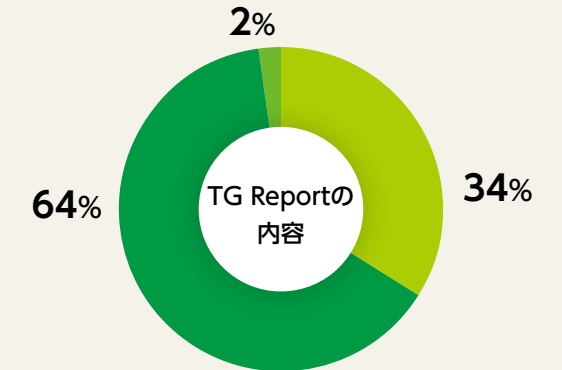
アンケート結果報告

「TG REPORT(株主通信)」をご覧いただき、誠にありがとうございます。当社グループは、IR(投資家向け広報)活動の一環として、株主の皆様とのコミュニケーション促進を図るべく、アンケートを実施させていただいております。前回のアンケートにおきましては、896名の株主様よりご回答をいただきました。貴重なご意見・ご要望は、今後のIR活動および「TG REPORT」作成の参考にさせていただきます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

- 将来性
- 収益性
- 成長性
- 企業理念
- 事業内容
- 財務内容
- 株価の値頃感
- 配当
- 株主優待
- その他
- 理解できた
- おおよそ理解できた
- 分かりにくかった



株式購入のポイントとして「株主優待」が最多となっており、次いで「配当」「将来性」「成長性」となっております。



98%の方に「理解できた」「おおよそ理解できた」とご回答いただきました。

株主様の声

経営について

- QUOカードのデジタル化に関心があります。
- QUOカード事業の見通し、財務への影響を知りたい。優待ありがとうございます。

配当・株主優待について

- カードのデザインがとてもよかったです。
- 優待がデジタル版QUOカードになり、便利になればいいですね。
- ティーガイアならではの特色のある株主優待だと思います。



